

2021・12 全国菜の花サミットin小山

体にやさしい農業と食
有機稲作の実践

民間稲作研究所理事長

有機稲作農家

舘野かえる農場 舘野廣幸

館野かえる農場の有機農業



★ 舘野かえる農場の経営概要

(1992年より無農薬・無化学肥料)

- ・有機稲作12ha
- ・有機小麦1ha
- ・有機大豆1ha
- ・雑木林2ha
- ・有機野菜0.2ha・有機果樹0.1ha

使用する有機資材

(雑草・稲わら・もみ殻・米ぬか・落ち葉)

カエルの働きで稲を栽培する



★ 舘野かえる農場

「かえる農場」の意味



- ・ 蛙 = カエルが働いている！
- ・ 帰る = 自然に帰る
- ・ 変える = 世の中を変える
- ・ 還る = 循環する
- ・ 買える = 誰でもお米が買える

★有機農業の定義とは何か？
（「有機JAS法」と「有機農業推進法」）

- ①化学農薬の不使用
- ②化学肥料の不使用
- ③遺伝子組み換え技術の不使用



★化学農薬も化学肥料も
遺伝子組み換えも使う必要のない農業

★有機農業の本質

(「有機」は単なる有機肥料の意味ではない)

- ・「有機」は「いのち」=有機体
- ・「有機」は「つながり」=共生・生態系
- ・「有機」は「めぐり」=循環・輪廻



★有機農業は生命によって

生命を生み出す農業のことである

田畑の生き物を増やす農業



微生物を増やす農業



★誤解された有機農業

- ①昔の農業？
- ②特殊な農業？
- ③不可能（理想論・空想）？
- ④非科学的（宗教・オカルト）？
- ⑤害虫や病気が増える？
- ⑥収量が低い？（人類が飢える！？）
- ⑦経営ができない？
- ⑧重労働？
- ⑨手間（時間）がかかる？（非効率？）
- ⑩有機農産物は高い？
- ⑪形が揃っていない？

はさがけ(おだがけ)と足踏み脱穀機で種取



★有機稲作の種子準備

- 塩水撰(選)＝横井時敬
塩水による比重撰
- 温湯処理＝江戸の酒作り
60°C 5～7分間
パスツールの方法と同じ

有機種子の塩水選



★有機稲作の育苗

(「苗半作」の重要性)

- 床土の選定

(落ち葉や山土と糸状菌や放線菌)

- 播種量と生育の違い

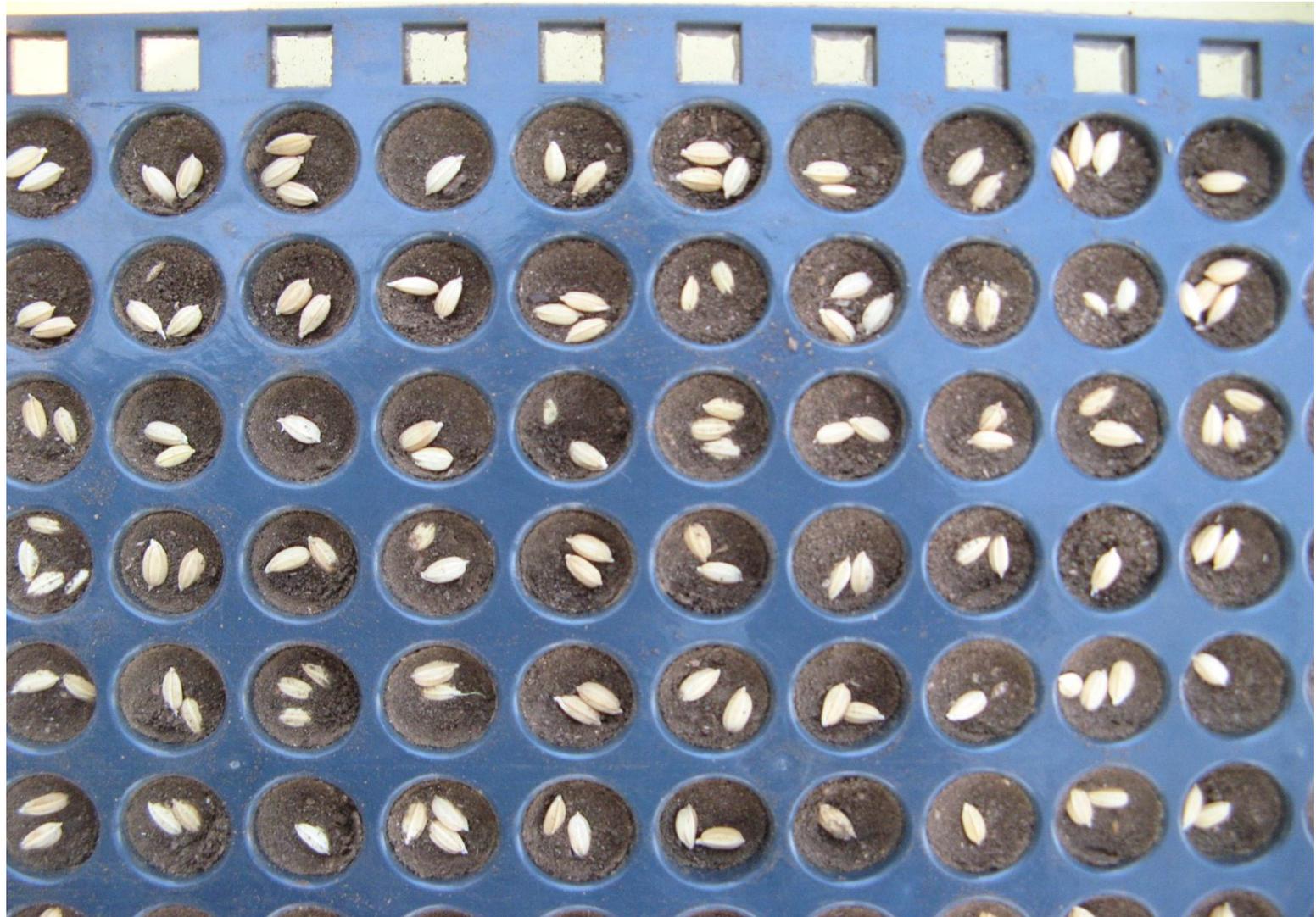
(稚苗と成苗の違い) = 稲の葉(葉齡)

- 育苗の環境

(低温処理による体質の強化)

= 寒いときには水で保温

ポット育苗箱への播種(薄播)



代かきした苗代にポット育苗の箱を並べる



育苗中のポット苗(45~50日)



完成したポット成苗（約5～6葉苗）



田んぼには雑草が生える



田んぼに生えるスズメノテツポウ



代かきで鋤き込み、稲の養分にする



代かきで雑草を生やす



2回目の代かきで雑草埋め込む



★有機稲作の田植え

田植えは急がない(5月後半～)

自然のリズムに合わせる



田植えはスタートではない
ゴールである

田植え(水中田植え＝水を張る)



水面に波を立てて田植え



田植え後は深水管理(2週間)
苗は40~45株/3.3m²



田植え後の水管理



★有機稲作の雑草抑草法

- ・深水によるヒエの抑草（酸素供給量の低減）
- ・土を見せない水管理
- ・有機質と黒ボクによる「トロトロ層」でコナギの抑草
- ・温度の上昇でコナギ発芽させる
- ・6月後半代かきによる宿根雑草の抑草（球根出芽時期）

トトロ口層が雑草を抑制する



2021年8月11日のコシヒカリ





生き物たちと
雑草が栄養となり
稲が育つ

収穫期のコシヒカリ



④投入労働時間評価 (圃場内作業)

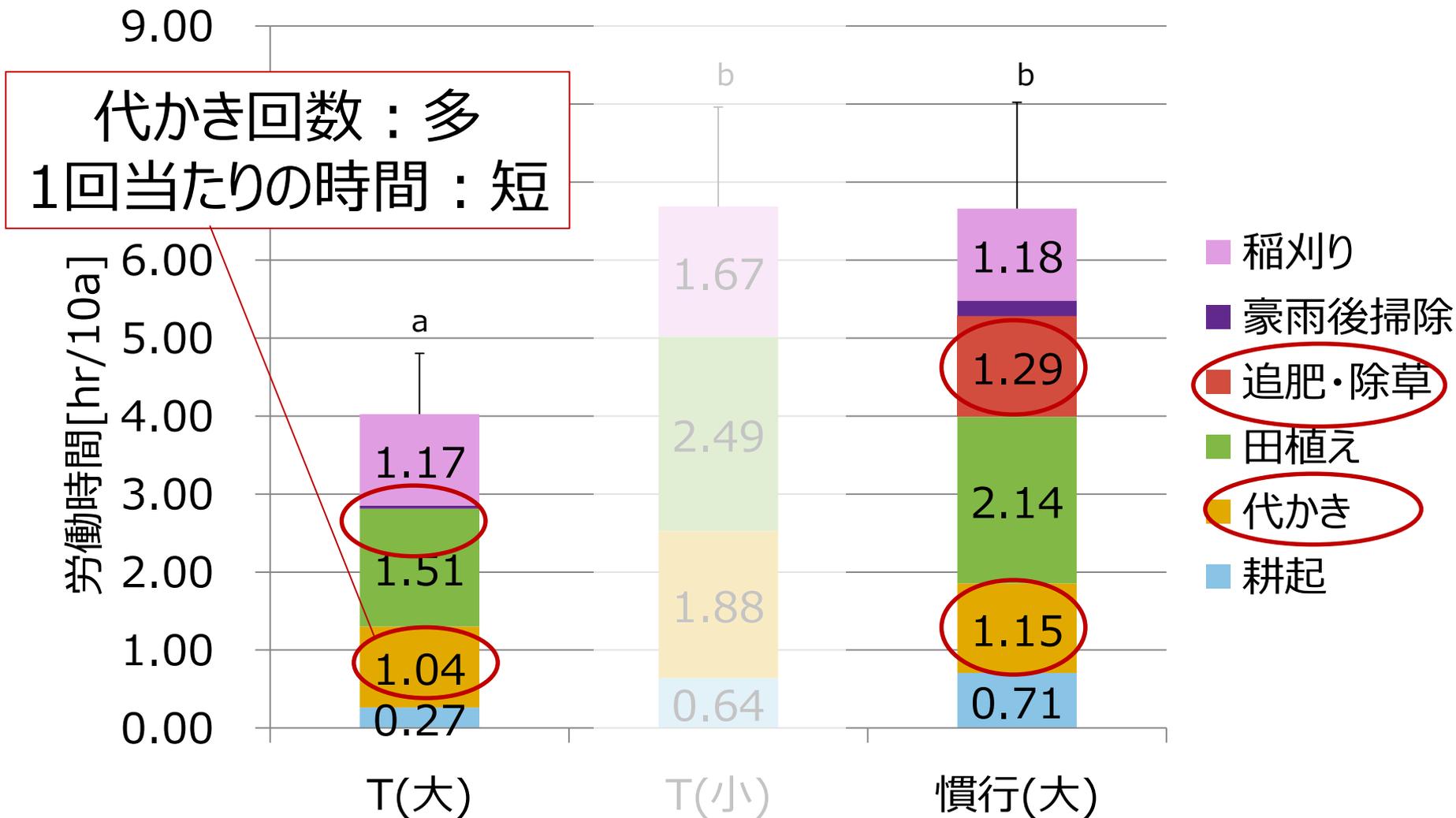


図3: 主な圃場内作業時間の比較

★有機農業は人と自然が共に生き、
多くの生命を育む農業である

